

社会性のある企て。

ソーシャルデザイナー今中博之さんの著書『アトリエ インカーブ物語』に、
こんな一節があります。

「デザイナーに課せられた使命とは、ヒト、モノ、コトの観点を変更させることにある。

自分の我欲を滲ませることが許されるのは『アート』である。

『デザイン』はデザイナーが我欲のために行う行為ではない。

また往々にして色や形などを表現することがデザインだと考える節があるが、
観点を変更してもらいたい。

デザイナーの本当のお役目は、そんな表層部分を企てることではない。」

今中さんが、知的障がいのある30人の尊敬するアーティストたちの

「普通なしあわせ」を実現するためにアトリエ インカーブを設立して19年。

彼と彼らの物語が、デザインの本当の意味と可能性を

教えてくれる110分間になると思います。



社会福祉法人 素王会 / 理事長
アトリエ インカーブ / クリエイティブディレクター

今中 博之

(株) 電通 中部支社 ビジネスクリエーション局
ビジネスデザイン部 クリエイティブ・ディレクター

都築 徹

第67回 名広協クリエイティブ研究会 Nagoya Advertising Agencies Association

2021.4.23 Fri 18:30 - 20:20



上段「ドロップキック」新木友行 / 下段「昭和歌」寺尾勝広

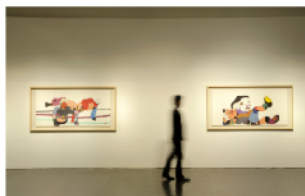
PANELIST



今中 博之 Hiroshi Imanaka

社会福祉法人 素王会 / 理事長
アトリエ インカーブ / クリエイティブディレクター

1963年生まれ。100万人に1人の難病、
偽性アコンドロブラージア（先天性両下肢障がい）。
乃村工藝社デザイン部勤務を経て、イマナカデザイン一級建築士事務所代表。
2002年に知的に障がいのあるアーティストが集う
「社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ」を設立。
アーティストの作品を国内外の美術館やギャラリー、アートフェアに発信する。
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員、
エンブレムデザイン委員会委員。厚生労働省・文化庁 2020年オリンピック・
パラリンピック東京大会に向けた障がい者の芸術振興に関する懇談会委員など。
グッドデザイン賞、ウィンドーデザイン通産大臣賞など受賞多数。
主な著作に『アトリエ インカーブ 物語（河出書房新社）』、
元厚生労働事務次官・村木厚子さんとの共著『かっこいい福祉』（左右社）などがある。
大阪大学（男女協働推進センター）招聘教授
金沢美術工芸大学非常勤講師。



MODELIST



都築 徹 Toru Tsuzuki

(株) 電通 中部支社 ビジネスクリエーション局
ビジネスデザイン部 クリエイティブ・ディレクター

1967年生まれ。
1990年、電通入社。セールスプロモーション、営業を経て、コピーライター。
東海テレビ公共キャンペーンCMでACC賞グランプリ。
TCC賞、ADC賞、ギャラクシー大賞、
クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリストなど受賞。
愛知県立芸術大学非常勤講師。

Nagoya Advertising Agencies Association

第67回 名広協クリエイティブ研究会

2021.4.23 Fri 18:30 - 20:20

- 参加費 無料（要事前申込み）
- 定員 500名（Zoom ウェビナー）
- お申込み QRコードから申込み可能

お問い合わせ先 名古屋広告業協会 事務局 meikoukyo@dentsu.co.jp

